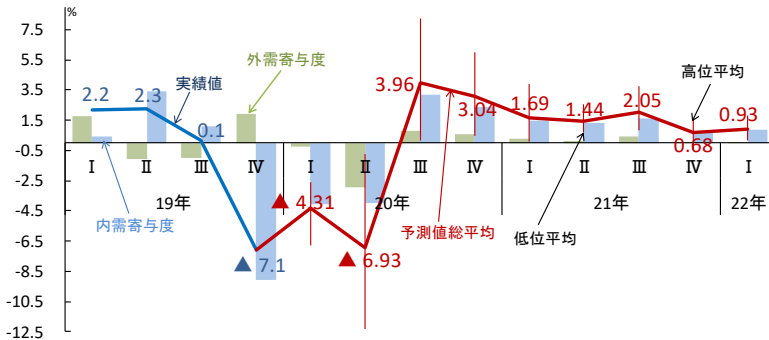


1 実質経済成長率(前期比年率)は、2020年1～3月期▲4.31%、4～6月期▲6.93%と前月調査より大幅下方修正。

20年4～6月期まで実質成長率は前月調査より大幅に下方修正され、3期連続マイナスとなる。7～9月期以降プラスに転じる。



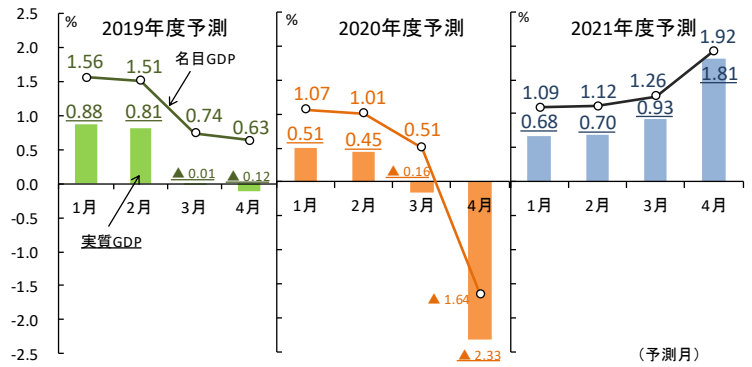
◆20年I期(1～3月期)実質GDP及び内訳の増減率(%)

実質GDP 前期比年率 (前期比)	民間最終 消費支出	民間企業 設備投資	財貨・サー ビスの輸出	財貨・サー ビスの輸入
▲4.31 (▲1.10)	▲1.38	▲1.14	▲4.79	▲4.34

(注) 内訳4項目は前期比。

2 20年度のGDP成長率は実質、名目ともマイナス成長と前月調査より大幅下方修正。21年度は上方修正。

年度の実質経済成長率予測は、19年度、20年度ともマイナス成長となり、21年度にプラスに転じる。名目成長率は20年度にマイナス成長に低下、21年度はプラスに転じる見込み。



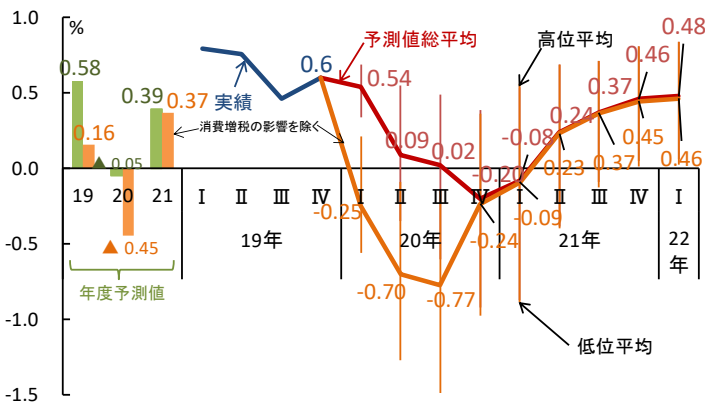
	2019年度	2020年度	2021年度
内需寄与度	0.1 (0.2/▲0.1)	▲1.9 (▲0.6/▲3.4)	1.5 (2.3/0.8)
うち民需	▲0.6 (▲0.5/▲0.8)	▲2.4 (▲1.0/▲4.0)	1.3 (2.0/0.7)
うち公需	0.7 (0.7/0.6)	0.5 (0.9/0.3)	0.2 (0.4/0.1)
外需寄与度	▲0.2 (▲0.0/▲0.3)	▲0.4 (0.3/▲1.4)	0.3 (0.8/▲0.1)
実質GDP 成長率	▲0.12 (0.01/▲0.29)	▲2.33 (▲0.74/▲3.78)	1.81 (2.81/1.01)

(注1) 値の見方: 平均(高位平均/低位平均)

(注2) 1・2の寄与度は簡易計算によるもので厳密なものではない。

3 消費者物価上昇率(前年同期比)

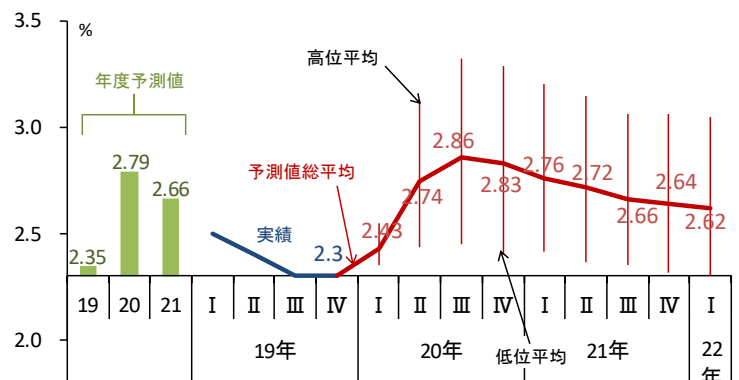
20年1～3月期の0.54%から、20年10～12月期の▲0.20%まで低下した後、上昇する。年度では、20年度の▲0.05%まで低下した後、21年度に上昇する。



(注) 生鮮食品除く総合の前年同期比上昇率。

4 失業率

20年7～9月期の2.86%まで上昇、その後22年1～3月期まで低下する。



5 (特別調査)オリンピック開催

今回の予測に、2021年度のオリンピック開催を織り込んでいるかを尋ねたところ、30名が織り込んでおり、4名が織り込んでいないと答えた。織り込んでいない場合には、その理由を尋ねた。(回答数 34)

◆2021年度のオリンピック開催を予測に織り込んでいるか

織り込んでいる	織り込んでいない
30	4

(注) フォークキャスター数 (名)。

◆予測に織り込んでいない理由

①開催経費がどの程度膨らむのか見通せない	1
②再延期・中止の可能性も否めない	3
③その他	0

(注) フォークキャスター数 (名)。複数回答。

6 (特別調査)新型コロナウイルス対策

今回の予測に、新型コロナウイルス対策としての財政出動を想定しているかを聞いたところ、26名が想定しており、8名が想定していないと答えた。(回答数 34)

財政出動を想定している場合、その規模は、平均でみて2019・20年度の合計で名目GDP比4.62%である。(回答数 25)

◆新型コロナウイルス対策としての財政出動を想定しているか

想定している	想定していない
26	8

(注) フォークキャスター数 (名)。

◆想定している財政出動の規模 (2019・21年度合計)

名目GDP比 (%)	4.62
------------	------

詳細版は4月10日にホームページにて公表予定

公益社団法人 日本経済研究センター

100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7

日本経済新聞社東京本社ビル11階

電話 03-6256-7796 FAX 03-6256-7925

URL: <https://www.jcer.or.jp/esp-forecast-top>